

# 道路等長寿命化計画

令和2年3月策定  
令和4年1月一部改定  
令和5年1月一部改定

韮崎市

## 1 計画の目的

本市においても、市民生活の利便性向上のため、市道を整備・管理しています。毎年度、道路整備に関する地区からの要望も多く、十分な水準に達している状況とはいえませんが、総延長は約 420kmあり、今後老朽化が進み、施設の維持、改修、更新などに多額の事業費がかかることが見込まれています。このような状況の中、市民に安全・安心な道路施設を提供するため、より一層適切に維持管理を行わなければなりません。

この計画は、メンテナンスサイクル（点検・診断・措置・記録）の構築・継続の取り組みを進めることにより、施設の長寿命化を図り、ライフサイクルコストの低減や予算の平準化を図ることを目的とします。

## 2 対象施設

本計画の対象施設は下表に示すとおりです。

区 分	路線・箇所数	実延長等	備 考
1 級市道	31	56,718.1m	
2 級市道	20	28,782.9m	
その他市道	763	333,361.1m	
道路照明設備	16		

※橋梁は橋の長寿命化修繕計画を策定済みです。

※トンネルは別に個別施設計画を策定済みです。

## 3 計画の期間

本計画は、令和 3 年度から令和 7 年度までの 5 年間で計画期間とし、その後、総合管理計画と期間をあわせ、10 年ごとに 2 期の計画を策定することとします。

## 4 対策の優先順位の考え方

- (1) 道路修繕の優先順位は、道路利用者の安全および利便性確保の観点に基づき、損傷状況などの対策の緊急度や道路の重要度を考慮した優先度評価により決定します。
- (2) 道路照明設備は道路利用者の安全および利便性確保の観点に基づく優先度評価により決定します。

## 5 個別施設の状態等

### (1) 道路

日常点検の実施や地区からの連絡などにより、舗装等の損傷や異常箇所の早期発見と適切な補修を行うことで、路面の安全性の確保に努めています。平成 26 年度には、道路構造物の総点検の一環として、路面の状態を把握するための調査を実施し、道路の舗装面の健全度は比較的良好であり、老朽化の進行は緩やかな状況が確認されています。

市道の整備年度は全て把握している状況ではありませんが、将来的に老朽化する施設が増大することが見込まれるため、現時点から適切な対応に向けた計画的な取り組みが不

可欠です。日常点検の結果に基づき劣化予測を行い、予防保全型の管理を導入し長寿命化を図ることで、地域への影響を最小限に抑えるとともに、長期にわたって施設の安全性や耐久性を確保します。

## (2) 道路照明設備

日常点検の実施や地区からの連絡などにより、安全性の確保に努めています。道路照明設備は、自動車だけではなく、歩行者の安全確保にも重要であることから、設備の長寿命化を図る必要があります。

## 6 対策内容と実施時期

舗装の打ち替えにより、10年程度の長寿命化が図られる。  
別紙のとおり

## 7 対策費用

計画期間における概算事業費は9億7,100万円です。

道路は、特に舗装に関し、予防保全型の管理を導入し、施設の安全性や耐久性を確保し、道路照明設備はLED化を進め、長寿命化を図ります。